



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

地域整備方向検討調査

耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	地域整備方向検討調査				
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務				
業務別業務名:設計業務					
名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				11,227,000	
・直接人件費	1.000	式		11,227,000	
・・・直接人件費	1.000	式		11,227,000	
・・・設計作業費	1.000	式	1,938,000	1,938,000	1式当たり
S63007 現地踏査	1.000	式	1,284,600	1,284,600	歩A・単A S単 13号
S63003 資料の検討	1.000	式	653,200	653,200	歩A・単A S単 1号
合 計				1,937,800	
・・・設計作業費	1.000	式	5,051,000	5,051,000	1式当たり
S63003 問診調査	1.000	式	742,000	742,000	歩A・単A S単 2号
S63003 健全度評価の更新	1.000	式	538,700	538,700	歩A・単A S単 3号
S63003 性能低下予測の更新	1.000	式	390,300	390,300	歩A・単A S単 4号
S63003 管理水準の再設定	1.000	式	538,700	538,700	歩A・単A S単 5号
S63003 機能保全対策の更新	1.000	式	670,500	670,500	歩A・単A S単 6号
S63003 機能保全コストの算定	1.000	式	1,201,800	1,201,800	歩A・単A S単 7号
S63003 機能保全計画の更新	1.000	式	968,500	968,500	歩A・単A S単 8号
合 計				5,050,500	
・・・設計作業費	1.000	式	3,174,000	3,174,000	1式当たり
S63003 施設長寿命化計画の基本方針の策定	1.000	式	950,000	950,000	歩A・単A S単 9号
S63003 概算事業費の算定	1.000	式	1,001,100	1,001,100	歩A・単A S単 10号
S63003 施設長寿命化計画の策定	1.000	式	1,222,800	1,222,800	歩A・単A S単 11号
合 計				3,173,900	
・・・設計作業費	1.000	式	290,000	290,000	1式当たり
S63003 点検取りまとめ	1.000	式	289,950	289,950	歩A・単A S単 12号
合 計				289,950	
・・・打合せ(設計)	1.000	式	328,000	328,000	1式当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日	2.000	回	88,550	177,100	歩A・単A S単 15号
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日	2.000	回	75,670	151,340	歩A・単A S単 16号
合 計				328,440	
・・・移動に係る直接人件費 現地調査	1.000	式	446,000	446,000	1式当たり
S63007 現地踏査及び問診調査旅費	1.000	式	445,852	445,852	歩A・単A S単 14号
合 計				445,852	

事業名	地域整備方向検討調査					
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単-1号 *** 資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	653,200		歩A・単A
S63003	*** S単-2号 *** 問診調査 設計労務(直接人件費内業)		式	742,000		歩A・単A
S63003	*** S単-3号 *** 健全度評価の更新 設計労務(直接人件費内業)		式	538,700		歩A・単A
S63003	*** S単-4号 *** 性能低下予測の更新 設計労務(直接人件費内業)		式	390,300		歩A・単A
S63003	*** S単-5号 *** 管理水準の再設定 設計労務(直接人件費内業)		式	538,700		歩A・単A
S63003	*** S単-6号 *** 機能保全対策の更新 設計労務(直接人件費内業)		式	670,500		歩A・単A
S63003	*** S単-7号 *** 機能保全コストの算定 設計労務(直接人件費内業)		式	1,201,800		歩A・単A
S63003	*** S単-8号 *** 機能保全計画の更新 設計労務(直接人件費内業)		式	968,500		歩A・単A
S63003	*** S単-9号 *** 施設長寿命化計画の基本方針の策定 設計労務(直接人件費内業)		式	950,000		歩A・単A
S63003	*** S単-10号 *** 概算事業費の算定 設計労務(直接人件費内業)		式	1,001,100		歩A・単A
S63003	*** S単-11号 *** 施設長寿命化計画の策定 設計労務(直接人件費内業)		式	1,222,800		歩A・単A
S63003	*** S単-12号 *** 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	289,950		歩A・単A
S63007	*** S単-13号 *** 現地踏査 設計労務(直接人件費外業)		式	1,284,600		歩A・単A
S63007	*** S単-14号 *** 現地踏査及び問診調査旅費 設計労務(直接人件費外業)		式	445,852		歩A・単A
S63010	*** S単-15号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日		回	88,550		歩A・単A
S63010	*** S単-16号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日		回	75,670		歩A・単A
S63011	*** S単-17号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	3,124		歩A・単A
S63011	*** S単-18号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	3,124		歩A・単A
S63018	*** S単-19号 *** 旅費交通費(設計外業日雇用) ライトバン,13日,2時間		式	74,209		歩A・単A
S63023	*** S単-20号 *** 電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1,A-4,500,8cm,0		式	7,445		歩A・単A

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S63003	資料の検討		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師 (B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師 (C)	4.000	人	40,300	161,200	
	合 計				653,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		653,200	
*** S単-2号 ***						
S63003	問診調査		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師 (B)	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師 (C)	5.000	人	40,300	201,500	
	合 計				742,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		742,000	
*** S単-3号 ***						
S63003	健全度評価の更新		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師 (A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師 (B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
	合 計				538,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		538,700	
*** S単-4号 ***						
S63003	性能低下予測の更新		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師 (A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	1.000	人	40,300	40,300	
	合計				390,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		390,300	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	管理水準の再設定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師 (A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師 (B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
	合計				538,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		538,700	
	*** S単- 6号 ***					
S63003	機能保全対策の更新		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師 (A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師 (B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				670,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		670,500	
	*** S単- 7号 ***					
S63003	機能保全コストの算定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	6.000	人	59,600	357,600	
R04005	技師(B)	8.000	人	48,500	388,000	
R04006	技師(C)	8.000	人	40,300	322,400	
	合計				1,201,800	算出数量 1.000式
	単価		式		1,201,800	
	*** S単-8号 ***					
S63003	機能保全計画の更新		式		1.000式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	8.000	人	59,600	476,800	
R04005	技師(B)	6.000	人	48,500	291,000	
	合計				968,500	算出数量 1.000式
	単価		式		968,500	
	*** S単-9号 ***					
S63003	施設長寿命化計画の基本方針の策定		式		1.000式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	4.000	人	66,900	267,600	
R04004	技師(A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師(C)	5.000	人	40,300	201,500	
	合計				950,000	算出数量 1.000式
	単価		式		950,000	
	*** S単-10号 ***					
S63003	概算事業費の算定		式		1.000式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				

事業名	地域整備方向検討調査					
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	7.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師 (B)					
		7.000	人	48,500	339,500	
R04006	技師 (C)					
		7.000	人	40,300	282,100	
	合計				1,001,100	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,001,100	
	*** S単- 11号 ***					
S63003	施設長寿命化計画の策定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人				
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師 (A)					
		5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師 (B)					
		8.000	人	48,500	388,000	
R04006	技師 (C)					
		10.000	人	40,300	403,000	
	合計				1,222,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,222,800	
	*** S単- 12号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.50人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)					
		1.000	人	40,300	40,300	
	合計				289,950	算出数量 1.000 式
	単価		式		289,950	
	*** S単- 13号 ***					
S63007	現地踏査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	7.00人				
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	7.000	人	66,900	468,300	
R04004	技師(A) 外業	8.000	人	59,600	476,800	
R04005	技師(B) 外業	7.000	人	48,500	339,500	
	合計				1,284,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,284,600	
	*** S単-14号 ***					
S63007	現地踏査及び問診調査旅費 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長の人数	0.00人 0.00人				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0
	3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数	1.54人 2.86人				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0
	5) 技師Bの人数 6) 技師Cの人数 7) 技術員の人数	2.64人 1.10人 0.00人				亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 深夜時間: 0.0
R04003	主任技師 外業	1.540	人	66,900	103,026	
R04004	技師(A) 外業	2.860	人	59,600	170,456	
R04005	技師(B) 外業	2.640	人	48,500	128,040	
R04006	技師(C) 外業	1.100	人	40,300	44,330	
	合計				445,852	算出数量 1.000 式
	単価		式		445,852	
	*** S単-15号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.2日		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	1) 設計工種 2) 打合せ	一般工種 着手前・最終				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0
	3) 設計用主任技師人数 4) 設計用技師(A)人数 5) 設計用技師(B)人数 6) 設計用技師(C)人数	1.00人 1.00人 0.00人 0.00人				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0
	7) 打合せ日数 8) 往復移動日数	0.500日 0.200日				亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 深夜時間: 0.0
R04003	主任技師	0.700	人	66,900	46,830	
R04004	技師(A)	0.700	人	59,600	41,720	
	合計				88,550	算出数量 1.000 回
	単価		回		88,550	
	*** S単-16号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.2日		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	1) 設計工種 2) 打合せ	一般工種 中間				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0
	3) 設計用主任技師人数 4) 設計用技師(A)人数 5) 設計用技師(B)人数 6) 設計用技師(C)人数	0.00人 1.00人 1.00人 0.00人				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0
	7) 打合せ日数 8) 往復移動日数	0.500日 0.200日				亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 深夜時間: 0.0
R04004	技師(A)	0.700	人	59,600	41,720	
R04005	技師(B)	0.700	人	48,500	33,950	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				75,670	算出数量 1,000 回
	単価		回		75,670	
	*** S単一 17号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種・解析等調査業務 着手前・最終				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	1人 1人				
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.20日				
	9)宿泊区分 10)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	11)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金 (税別)	1,562円				
	13)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2,000	人	1,562	3,124	
	合計				3,124	算出数量 1,000 回
	単価		回		3,124	
	*** S単一 18号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種・解析等調査業務 中間				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	0人 1人				
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	1人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.20日				
	9)宿泊区分 10)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	11)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金 (税別)	1,562円				
	13)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2,000	人	1,562	3,124	
	合計				3,124	算出数量 1,000 回
	単価		回		3,124	
	*** S単一 19号 ***					
S63018	旅費交通費 (設計外業日帰用)		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用) ライトバン,13日,2時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)交通機関区分 2)高速道路往復料金 (税別)	ライトバン 3,162円				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	3)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				深夜時間:0.0
	4)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金 (税別)	0円				

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7) ライトバン使用日数の入力	13日				
	8) 時間区分	2時間				
	9) 設計用技師長外業日数	0.000日				
	10) 設計用主任技師外業日数	7.000日				
	11) 設計用技師A外業日数	13.000日				
	12) 設計用技師B外業日数	12.000日				
	13) 設計用技師C外業日数	5.000日				
	14) 設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	13.000	式	3,162	41,106	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	13.000	日	1,650	21,450	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	70.200	L	166	11,653	
	合計				74,209	算出数量 1.000 式
	単価		式		74,209	
	*** S単- 20号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A-4, 500, 8cm, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 報告書部数(部)	1.000		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 規格区分	A-4		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 枚数区分(枚)	500		深夜時間: 0.0		
	4) 厚さ区分	8cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43543	簡易加除式ファイル A4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	695	695	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアニン)70OMB	0.000	枚	47	0	
	合計				7,445	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,445	

令和7年度地域整備方向検討調査
耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

(適用範囲)

第1-1条

令和7年度地域整備方向検討調査耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条

本業務は、国営耳納山麓土地改良事業で造成された施設の施設長寿命化計画の策定を行うものである。

(場所)

第1-3条

本業務において対象とする施設の場所は、福岡県久留米市及びうきは市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第1-4条

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可なく土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備等

(一般事項)

第1-6条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。
- (3) 受注者は、業務内容を把握し業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-7条

(1) 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業-農業土木 農業-農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(2) 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る価格で契約した場合には、管理技術者は屋外で行う測量等の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1-8条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-9条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び相当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-10条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条

本業務の基本的事項に関しては、次の図書を優先して適用するものとする。
なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き	農林水産省農村振興局 整備部設計課	令和 5 年 4 月
2	農業用ダム機能診断マニュアル		平成 30 年 4 月
3	農業水利施設の機能保全の手引き 「ポンプ場（ポンプ設備）」		平成 25 年 4 月
4	農業水利施設の機能保全の手引き 「電気設備」		平成 25 年 5 月
5	農業水利施設の機能保全の手引き 「除塵設備」		平成 25 年 4 月
6	農業水利施設の機能保全の手引き 「頭首工」		平成 28 年 8 月
7	農業水利施設の機能保全の手引き 「頭首工（ゲート設備）」		平成 22 年 6 月
8	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」		平成 28 年 8 月
9	農業水利施設の機能保全の手引き 「水路トンネル」		平成 28 年 8 月
10	農業水利施設の機能保全の手引き 「水管理制御設備」		平成 25 年 5 月
11	農業水利施設の長寿命化のための 手引き		平成 27 年 11 月

(対象施設)

第 2-2 条

本業務で実施する施設長寿命化計画策定の対象施設は、【別紙 1】施設長寿命化計画の策定対象施設及び基本条件（以下、【別紙 1】という。）のとおりである。

(参考図書)

第 2-3 条

本業務で参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名	発行	制定(改訂)年月
1	国営土地改良事業調査計画マニュアル	(一社) 農業土木事業協会	平成 5 年 3 月
2	農業農村整備事業計画便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成 15 年 8 月

(貸与資料等)

第 2-4 条

貸与資料は、次のとおりである。

番 号	資 料 名	数 量
1	国営土地改良事業「耳納山麓地区」事業成績書及び事業誌	1 式
2	国営耳納山麓土地改良事業 施設管理図	1 式

3	平成 22 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区合所ダム機能保全検討業務報告書	1 式
4	平成 22 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区揚水施設等機能保全検討業務報告書	1 式
5	平成 22 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区水管理施設機能保全検討業務報告書	1 式
6	平成 23 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区幹線水路機能保全検討業務報告書	1 式
7	平成 23 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区水門施設機能保全検討業務報告書	1 式
8	平成 24 年度国営施設機能保全事業 合所ダム付帯施設機能保全検討業務報告書	1 式
9	平成 24 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区揚水施設他機能保全検討業務報告書	1 式
10	平成 24 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区施設長寿命化計画策定業務報告書	1 式
11	平成 25 年度国営施設機能保全事業 夜明取水工他機能保全検討業務報告書	1 式
12	平成 25 年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区事業計画基礎資料作成その他業務報告書	1 式
13	平成 30 年度国営施設応急対策事業 耳納山麓地区幹線水路他調査検討業務報告書	1 式
14	平成 30 年度国営施設応急対策事業 耳納山麓地区施設整備計画作成業務報告書	1 式
15	令和元年度国営施設応急対策事業 耳納山麓地区施設計画作成業務報告書	1 式
16	令和元年度国営施設応急対策事業 耳納山麓地区施設長寿命化計画精査業務報告書	1 式
17	令和 2 年度国営施設応急対策事業 耳納山麓地区事業計画書（案）作成業務報告書	1 式
18	令和 3 年度国営施設緊急整備対策調査 耳納山麓地区付帯施設他機能検討業務報告書	1 式

また、上記以外で必要な資料がある場合は、監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2 - 5 条

第 2 - 3 条、第 2 - 4 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

(1) 施設長寿命化計画の策定

詳細は、【別紙1】及び【別紙2】施設長寿命化計画作業等作業項目内訳表（以下、【別紙2】という。）のとおりである。

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 機能保全計画の更新	1式	
3. 施設長寿命化計画の策定	1式	
4. 点検取りまとめ	1式	

(現地作業内容)

第3-2条

現地調査の詳細は次のとおりである。また、作業は施設管理者と調整の上で行う。

(1) 現地踏査（施設長寿命化計画の策定）

【別紙1】に示す施設長寿命化計画の策定に必要な現地踏査を行う。

(設計作業内容)

第3-3条

(1) 施設長寿命化計画の策定等

機能保全計画の未策定施設について問診調査を行い、過年度業務において策定した機能保全計画の更新と併せて、施設造成年等から他施設を参考にする等して、施設長寿命化計画の策定に必要な項目を設定し、【別紙1】に示す対象施設を地区全体とした施設長寿命化計画を策定する。

なお、詳細は【別紙2】のとおりである。

(作業の留意点)

第3-4条

本業務の実施に際し、特に留意する点は次のとおりである。

- (1) 電算機を使用する場合には、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-5条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC

暗号リスト) 」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」) に記載する基準を用いた信性
憑確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。

なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案) 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ(機能保全計画の更新(問診調査)の段階)

第3回 中間打合せ(施設長寿命化計画の策定の段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1 成果物の電子媒体(CD-R若しくはDVD-R)正副2部

2 成果物の出力(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)1部

(成果物の提出先)

第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口 891-20

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「対象施設」に変更が生じた場合
- (2) 第3-1条に示す「作業项目及び数量」に変更が生じた場合
- (3) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (4) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (5) 履行期間の変更が生じた場合
- (6) 関係機関等対外協議等により業務計画に変更が生じた場合
- (7) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】施設長寿命化計画の策定対象施設及び基本条件

施設名称	対象構造物等	主要構造物の形式・規格等	機能保全計画の策定年度	本業務対象施設	備考
合所ダム	堤体	傾斜遮水ゾーン型V=1,319千m ³ 、 監査廊	H22	○	
	洪水吐	ゲート付シュート型 Q=1,500m ³ /s、扉体N=3門	H22		
	取水設備	複式斜樋Q=2.5m ³ /s、取水施設ゲ ートN=5門	未策定		
	放流設備	取水設備併用Q=58.3m ³ /s、放流 設備ゲートN=4門	H23, 30		
	左岸管理用道路	現場吹付法枠工、グラウンドア ンカー A=3,491m ²	H24		
	仮排水路トンネル	円形トンネルr=4.15m L=494m	H23		
	管理棟	鉄筋コンクリート2階建て	H22		
	局舎	7局舎	H22		
	ダム管理システム	テレメータ、気象観測設備等	H22		
	管理設備	水位計、雨量計	H22		
	電気設備	受電盤、非常用発電等	H22		
	観測設備	地下水位観測設備	H22		
隈上川頭首工	堰体	フローティングタイプ	H23	○	
	護岸工	シュート型	H23		
	取水工・魚道	ドロップインフレッド	H23		
	洪水吐	越流型シェル構造ローラーゲ ートN=2門	H23		
	土砂吐	越流型ガーダ構造ローラーゲ ートN=1門	H30		
	取水設備	スライドゲートN=2門	H23		
	放流設備	電動バタフライ弁N=1基	H23		
	排砂ゲート	スライドゲートN=2門	未策定		
	排砂管ゲート	スライドゲートN=1門	未策定		
	制水ゲート	スライドゲートN=2門	未策定		
除塵機	ロータリーレーキ型自動除塵機 水平ベルトコンベア	H23			

施設名称	対象構造物等	主要構造物の形式・規格等	機能保全計画の策定年度	本業務対象施設	備考
隈上川導水路	導水路	管水路SP管 φ 1200～1500 L=1.0km	H23	○	
		管水路DCIP管 φ 1200 L=0.5km	H23		
夜明取水工	取水ゲート	ローラゲートN=1門	H25	○	
	制水ゲート	電動バタフライ弁N=1基	H25		
	除塵機	ロータリーレーキ型自動除塵機 水平ベルトコンベア	未策定		
夜明導水路	導水路	トンネル2r=2.3m L=2.8km シールド2r=2.4m L=0.5km	H30	○	
		管水路PC φ 1800 L=1.6km	H23		
		管水路SP φ 1800 L=0.5km	H23		
調整池	調整池	RC構造W48.3m×D29.8m×H3.6m	H30	○	
		スライドゲートN=2門	H30		
合流工	合流工	PC構造 φ 12.0m	H25	○	
		手動バタフライ弁N=1門	H30		
		電動バタフライ弁N=2基	H25		
耳納幹線水路	幹線水路	PC φ 1800～2000 L=7.5km	H23	○	
		SP φ 1500～2000 L=14.2km	H23		
サージタンク	サージタンク	RC構造 φ 12.0m	H25	○	
		電動バタフライ弁N=1基	H25		
		手動バタフライ弁N=1基	H25		
中央管理所	水管理施設	建屋、TM/TC装置等	H22, 25	○	
揚水機場	1-1ブロック	建屋N=2棟 横軸多段渦巻ポンプ φ 50 N=2基 横軸多段渦巻ポンプ φ 65 N=1基 横軸多段渦巻ポンプ φ 80 N=2基	H23, 24	○	
	1-2ブロック	建屋N=3棟 横軸多段ポンプ φ 50 N=4基 横軸多段ポンプ φ 65 N=2基	H22, 24, 25, 26	○	
	4ブロック	建屋N=2棟 横軸多段ポンプ φ 40 N=2基 横軸多段ポンプ φ 65 N=2基	H24, 30	○	
	7ブロック	建屋N=1棟 横軸多段ポンプ φ 50 N=2基	H24	○	

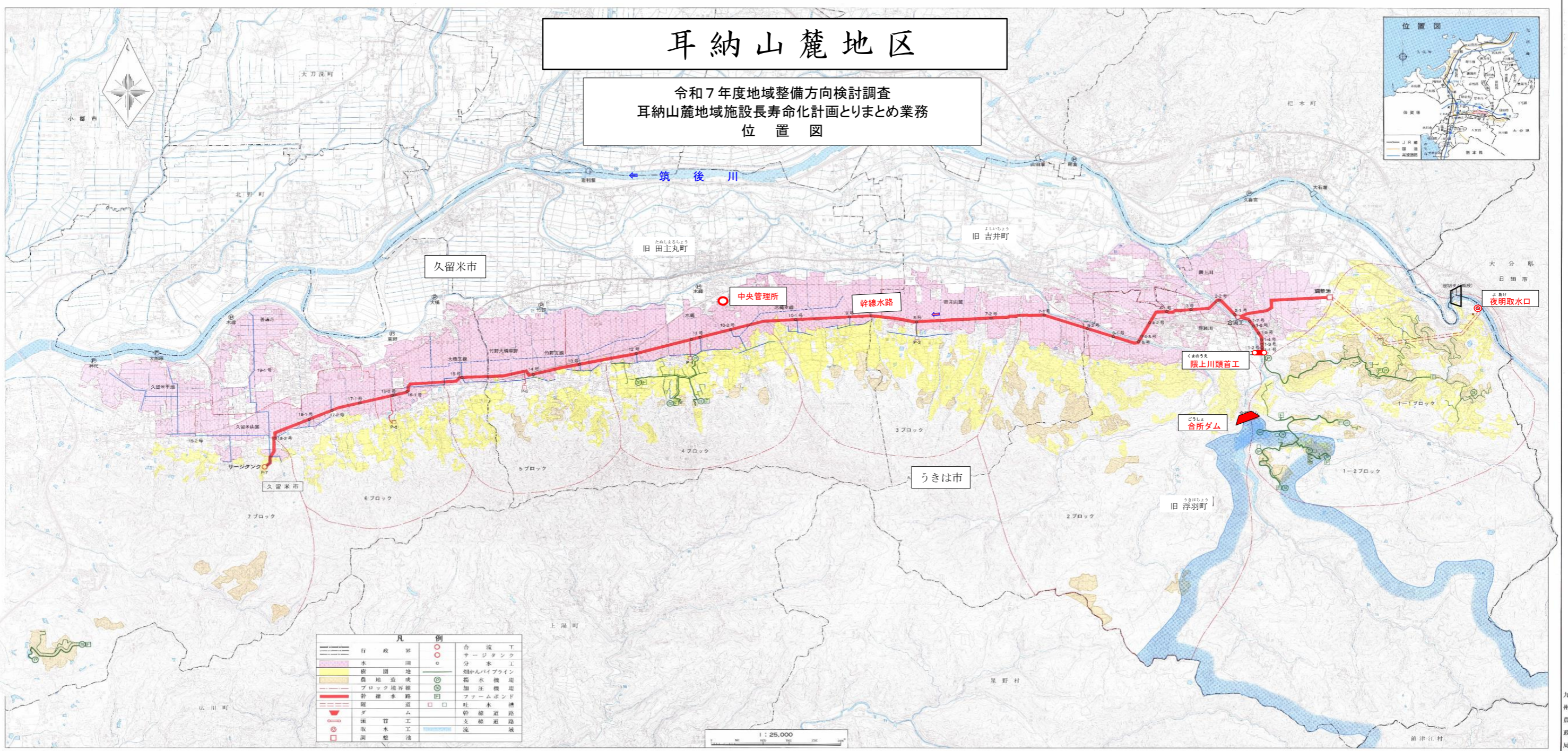
施設名称	対象構造物等	主要構造物の形式・規格等	機能保全計画の策定年度	本業務対象施設	備考
加圧機場	1-1ブロック	建屋N= 1 棟 横軸多段ポンプ φ 50 N=2基	H22	○	
	1-2ブロック	建屋N= 3 棟 横軸多段ポンプ φ 50 N=2基 横軸多段ポンプ φ 65 N=2基 片吸込渦巻ポンプ φ 50 N=2基	H22, 24, 25	○	
	4ブロック	建屋N= 3 棟 横軸多段ポンプ φ 40 N=2基 横軸多段ポンプ φ 50 N=4基	H22, 25	○	
	7ブロック	建屋N= 1 棟 横軸多段ポンプ φ 50 N=2基	H24	○	
取水機場	1-2ブロック	水中ポンプ φ 150 N=2基	H22, 26	○	
	7ブロック	建屋N= 1 棟 水中ポンプ φ 65 N= 1 基	建屋：未策定 H24	○	

【別紙 2】施設長寿命化計画策定等作業項目内訳表

作業項目	作業内容	数量
1. 準備作業		
1-1. 現地踏査	施設長寿命化計画策定に必要な現地踏査を行う。	1式
1-2. 資料の検討	現地踏査結果及び参考資料等を収集・整理・把握し、農業水利ストック情報データベース資料を確認したうえで、作業計画を樹立する。	1式
2. 機能保全計画の更新		
2-1. 問診調査	別紙1に示す機能保全計画の未策定施設を対象として、施設管理者から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1式
2-2. 健全度評価の更新	現地踏査、過年度業務成果及び問診調査結果等に基づき、健全度評価の更新を行う。なお、別紙1に示す、機能保全計画の未策定施設については、施設造成年等から他施設の健全度評価を参考にする等して、想定による健全度評価値を整理する。	1式
2-3. 性能低下予測の更新	過年度業務成果及び健全度評価の更新結果を踏まえ、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測の更新を行う。	1式
2-4. 管理水準の再設定	性能低下予測の更新結果を基に、施設の重要度及び経済性を踏まえ、管理水準を再設定する。	1式
2-5. 機能保全対策の更新	過年度の業務成果及び健全度評価の更新結果を踏まえ、対策シナリオの更新を行う。	1式
2-6. 機能保全コストの算定	施設の対策シナリオ毎に機能保全コストを算定する。(コスト算定のために必要な数量計算、単価更新を含む。)	1式
2-7. 機能保全計画の更新	施設の機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を更新する。	1式
3. 施設長寿命化計画の策定		
3-1. 施設長寿命化計画の基本方針の策定	本業務で更新する機能保全計画を基に、別紙1に示す対象施設を地区全体とした施設長寿命化計画の基本方針の策定を行う。また、併せて、施設管理者の聞き取り結果を反映した施設の更新順位表を作成する。	1式
3-2. 概算事業費の算定	本業務で更新する機能保全計画を基に、別紙1に示す対象施設を地区全体とした概算事業費を算定する。	1式
3-3. 施設長寿命化計画の策定	上記3-1、3-2を基に、施設長寿命化計画を策定する。	1式
4. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1式

耳納山麓地区

令和7年度地域整備方向検討調査
耳納山麓地域施設長寿命化計画とりまとめ業務
位置図



凡 例	
	行政界
	水田
	農地
	農地造成
	ブロック境界線
	幹線水路
	副道
	ダム
	取水工
	調整池
	合流工
	サージタンク
	分水工
	畑かんパイプライン
	揚水機
	加圧機
	ファームボンド
	排水溝
	支線水路
	溝